

報道関係者各位

2019年12月吉日

【イベント開催のご案内】

TERATOTERA 事務局

～ アートの「未来」を探る ～

『コレクティブ フォーラム vol.02

ーサステイナビリティの獲得ー』トークイベント開催

□日時：2020年（令和2年）1月18日（土）15:00～17:00（開場14:30）

□会場：KOGANEI ART SPOT シャトー2F

（JR中央線 武蔵小金井駅南口より徒歩5分）

※定員50名・参加費無料（事前申込者優先入場）

※YouTubeによるライブ中継配信も予定しております。

詳細はTERATOTERAのHP(<http://teratoterajp/events/collective02>)をご確認ください。

#### 【イベント要旨】

JR中央線の西側沿線地域を舞台に様々なアートプロジェクトを展開するTERATOTERA（テラトテラ）は、複数のアーティストが共同で恒常的に表現活動を行う際に使われる「コレクティブ」に焦点を当てた連続トークイベント・コレクティブフォーラムを開催いたします。

今回は“サステイナビリティの獲得”をメインテーマにエキサイティングなトークを展開していきます。

登壇者は、2022年にドイツのカッセルで開催される現代美術の国際展「ドクメンタ」の芸術監督を務めるインドネシアのアート・コレクティブ「ruangrupa」が、ジャカルタの2つのコレクティブ「Grafis Huru Hara」と「Serrum」と共同ではじめた新しい試みである『Gudskul』、2018年に札幌で結成された『Sapporo Dance Collective』、そして2016年に東京で結成された『Ongoing Collective』、そしてインディペンデント・キュレーターの服部浩之が参加します。現代における「コレクティブ」の意義とその可能性について意見を交換しながら、それぞれが思い描くサステイナビリティの視点をシェアしていきます。

なぜ今コレクティブなのか？これからのアートの未来を照らす大きな手がかりになるであろうその問いかけについて、今回も様々な視点から迫ります。

なお『コレクティブフォーラム』とは、現在進行形で活動を行う様々なコレクティブを紹介しつつ、現在における「コレクティブ」の意義とその可能性について探る公開討論の場として開催しており、2019年5月の『コレクティブフォーラム vol.01 ーなぜ今コレクティブなのか？ー』に続き2回目の開催となります。

※本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。

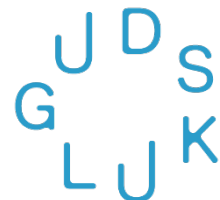
【コレクティブフォーラム vol.02 開催概要】

- 名称 : コレクティブフォーラム vol.02 - サステナビリティの獲得 -  
日時 : 2020年(令和2年)1月18日(土) 15:00~17:00 (開場 14:30)  
会場 : KOGANEI ART SPOT シャトー2F (東京都小金井市本町 6-5-3 シャトー小金井 2F)  
参加費 : 無料 (事前申込優先)  
定員 : 50名 (先着順)  
申し込み方法 : 申込みフォーム (<https://forms.gle/yzkvcSqKBpaawCDo8>) により受付  
申し込み締切 : 2020年(令和2年)1月13日(月祝) 23:59 まで  
登壇者 : Gudskul、Ongoing Collective、Sapporo Dance Collective、  
服部浩之 (キュレーター、秋田公立美術大学大学院准教授)  
モデレーター : 小川 希 (TERATOTERA ディレクター、Teracollective、Ongoing Collective)  
主催 : 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人 Ongoing  
イベント情報 URL : <http://teratotera.jp/events/collective02>  
※ライブ中継配信の視聴方法については、上記イベント情報 URL よりご案内いたします。

【コレクティブフォーラム vol.02 登壇者概要】

・ Gudskul

Gudskul は、ジャカルタを拠点とする ruangrupa、Grafis Huru Hara、Serrum という3つのアートコレクティブによって設立された一般に開かれた学びの場。Gudskul が目標とするのは、専門分野に規定されたり、制度によって列記されたり、特殊な範囲にだけ用いられている知識生産の仮説を分散させながら、「訓練され」「知識がある」と考えられている人々だけでなく、社会に生きる多様な人々から既存の知識を解き放っていくこと。1年間のプロセスを経て、Gudskul は、参加者が実験とシミュレーションを繰り返しながら、共同作業を行うことができるスペースだと考えられるようになった。1年間のコースの中には、「キュラトリアルスタディ」「アートマネジメント」「サステナビリティストラテジー」「制作技法」そして「メディアム及びコレクティブスタディ」といったものがある。



STUDI KOLEKTIF DAN EKOSISTEM  
SENI RUPA KONTEMPORER

## MG Pringgotono

インドネシア ジャカルタ在住。Universitas Negeri Jakarta (UNJ) を2008年に卒業。東ジャカルタにあるオルタナティブアートスペース、Serrum を2006年に創立、2008年には Airbrush Indonesia art community を創立。2010年から現在に至るまで Dinas Artistik Kota に関わっている。Exhibition designer を務め、近年では Gudskul のディレクターを担っている。



## Leonhard Bartolomeus (Barto)

1987年インドネシア ジャワバラト デポック生まれ。Jakarta Institute of Art 陶芸学科卒業。インディペンデント・キュレーターとして活動するほか、集団的实践に焦点を当てたオープンな教育プラットフォームである Ruangrupa と Gudskul の一員でもある。近年、キュレーターのプロジェクトとしてオープンエデュケーションに焦点を当てはじめた。2013年には KARBONjournal.org の共著者／編集者とともに彼の最初の本「Publik dan Reklame di Ruang Kota Jakarta」を出版。ジャカルタ、スマラン、スラバヤの数人のキュレーターと一緒にキュレーター集団・KKK (Kolektif Kurator Kampung) をつくった。2019年、山口情報芸術センター (YCAM) のキュレーターチームに参加。現在は山口県在住。



## ・ Ongoing Collective

2016年、東京で結成。アーティスト、ミュージシャン、キュレーター、コーディネーターからなる全50名。東京の吉祥寺にある Art Center Ongoing ディレクター 小川希の呼びかけによって集まる。国内外の展覧会、アートプロジェクト、シンポジウム、レジデンスやイベント等に積極的に参加。

Ongoing Collective が目指すのは、オーガニックな集団。それは、なんらかのシステムや規律のもとに形成されるのではなく、より人間的な関係性によって成り立っていくもの。メンバーの間にヒエラルキーは存在せず、集団としての決定は、話し合いやその場のノリによって行われていく。個人主義の限界を超えて、その先にあるであろう明るい未来を目指す。



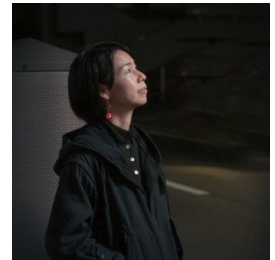
## うらあやか／URA AYAKA

1992年神奈川県生まれ。2015年武蔵野美術大学油絵学科卒業。自身や観客、役者など人間の身体を素材とした参加型パフォーマンス作品を多く制作。近年は魂、身体をモチーフとして自死ではない思弁的な方法によって自身の生に触れるワークショップ「おどる墓石」の連作に取り組む。female artists meeting、Ongoing Collective などに参加。CSLAB 管理人。



## たこ／TAKO

東京都生まれ。TERATOTERAの事務局長を経て、様々な地域のアートプロジェクトを中心にマネジメントとして活動。その他、国際舞台芸術交流ミーティング (TPAM)、KYOTO EXPERIMENT など舞台の制作も担う。現在 Ongoing Collective メンバーとして、Ongoing School のマネジメントを行っている。

・ Sapporo Dance Collective (SDC)

2017年、北海道札幌市の西方に位置する、劇場も兼ねた生活支援型文化施設「コンカリーニョ」プロデューサーである齋藤ちず氏が、「札幌に、コンテンポラリーダンスカンパニーを根付かせたい」という長年の想いと、既存のダンスカンパニーのようなトップからダウンへの一方向なベクトルを卒業し、上下よりも横のつながりを基盤とするネットワーク型の集団がコレクティブであるとの考えから名付ける。SDCは、創作現場として、意欲のあるダンサーが集い、実験の場を共有、リサーチ、フィールドワーク、ディスカッション・研究を経て、作品を練り上げ、十分な時間をかけてダンスの作家が育ち、いずれ独立していくようなインキュベーションの機能をもつ場を目指しているが、「それだけではダンス作品をつくるに十分な環境ではないのではないか」と、初代ディレクターとして招かれた羊屋白玉は疑問をもち、そのダンス作品をどのように届けるのか、そして当のダンサーたちはどのように暮らしてゆくのかなど、アーティストの仕事も労働と認められるようになるには何が必要か研究し、未来を生き延びるための労働組合を立ち上げ、連帯し、波及させ、見守ってゆく人と場を現在、組み立てている。



Sapporo Dance Collective

## 羊屋白玉／SHIROTAMA HITSUJIYA

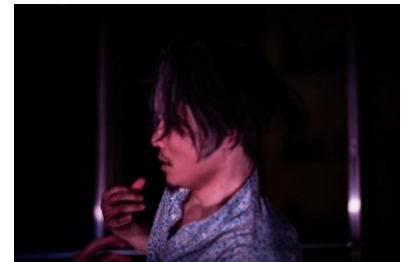
「指輪ホテル」芸術監督。演出家、劇作家、俳優。女子美術大学講師。劇場での演劇公演のほか、国内外の現代美術の芸術祭に招聘され、サイトスペシフィックな環境で演劇作品を発表している。人や物や街など、あらゆる現象の看取りや喪失、目に見えない境界などに関するネガティブなテーマの取り組みを演劇を通して生成している。アジアの女性舞台芸術家たちとのコレクティブを目指す亜女会（アジア女性舞台芸術会議）代表。インタビューを通して、社会学や民俗学に基づいた、生活史のアーカイヴづくりをしながら、歴史における発展と保存の対立の中、どのようにバランスのとれた未来をつくってゆけるか。を、ミッションとしている。札幌の劇場コンカリーニョ主催のサッポロダンスコレクティブの初代ディレクター。ニューズウィーク日本誌で「世界が認めた日本人女性 100 人」に選ばれている。



写真：高岡 弘

## 櫻井ヒロ／HIRO SAKURAI （Skype 参加）

2014年に北海道札幌市を拠点に活動するコンタクト・インプロビゼーションのユニット「micelle」を立ち上げる。自身らの主催公演では国内外で活躍するダンサーや演奏家を招き、一夜限りのパフォーマンスやワークショップを開催し即興の輪をつなげている。2018年度からは京都の先鋭的ダンスカンパニー、Monochrome Circusと連携しての「サッポロ・ダンスポート・プロジェクト」を始動し、共同制作やアウトリーチを通じて新進舞踊家の育成、コンタクト・インプロビゼーションの普及に努めている。養護学校や高齢者グループホーム等でのワークショップ、地方劇場との協働によるコミュニティダンス事業なども精力的に行っている。



写真：yixtape

## ・服部浩之／HIROYUKI HATTORI

キュレーター／秋田公立美術大学大学院准教授。1978年愛知県生まれ、愛知・秋田拠点。建築を学んだのちに、約10年間アーティスト・イン・レジデンス事業に携わる中で、様々なアーティストの制作プロセスに関わる。また、アジア圏を中心に同時代の新たな表現や活動のリーサーチを重ね、プロジェクトを展開。第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」（2019年）では、美術家・作曲家・人類学者・建築家の協働による多様な共存・共生のかたちを模索するプロジェクトを企画した。





## 【モデレーター概要】

### ・小川 希 / NOZOMU OGAWA

2002年から2006年にわたり、東京や横浜の各所を舞台に若手アーティストを対象とした大規模な公募展覧会「Ongoing」を、年1回のペースで企画、開催。その独自の公募・互選システムにより形成した数百名にのぼる若手アーティストネットワークを基盤に、既存の価値にとらわれない文化の新しい試みを恒常的に実践し発信する場を目指して、2008年1月に東京・吉祥寺に芸術複合施設 Art Center Ongoing を設立。現在、同施設の代表を務める。また、JR中央線高円寺駅から国分寺駅を舞台としたアートプロジェクト TERATOTERA（テラトテラ）のディレクターとしても活躍する。最近では2016年1月から4月までの3ヶ月、国際交流基金アジアフェロシップとして、東南アジア9カ国に点在する83カ所のアートスペースをリサーチした。



## 【コレクティブフォーラム vol.02 申し込み方法】

参加ご希望の方は、フォーム (<https://forms.gle/yzkvcSqKBpaawCDo8>) よりお申し込みください。

お申し込みは、先着順となります。予めご了承ください。

申込み締切：2020年1月13日（月祝）23:59（定員になり次第締め切らせていただきます）

## 【注意事項】

※プログラムの内容は、変更になる場合があります。

※ご来場の際は、可能な限り公共の交通機関をご利用ください。

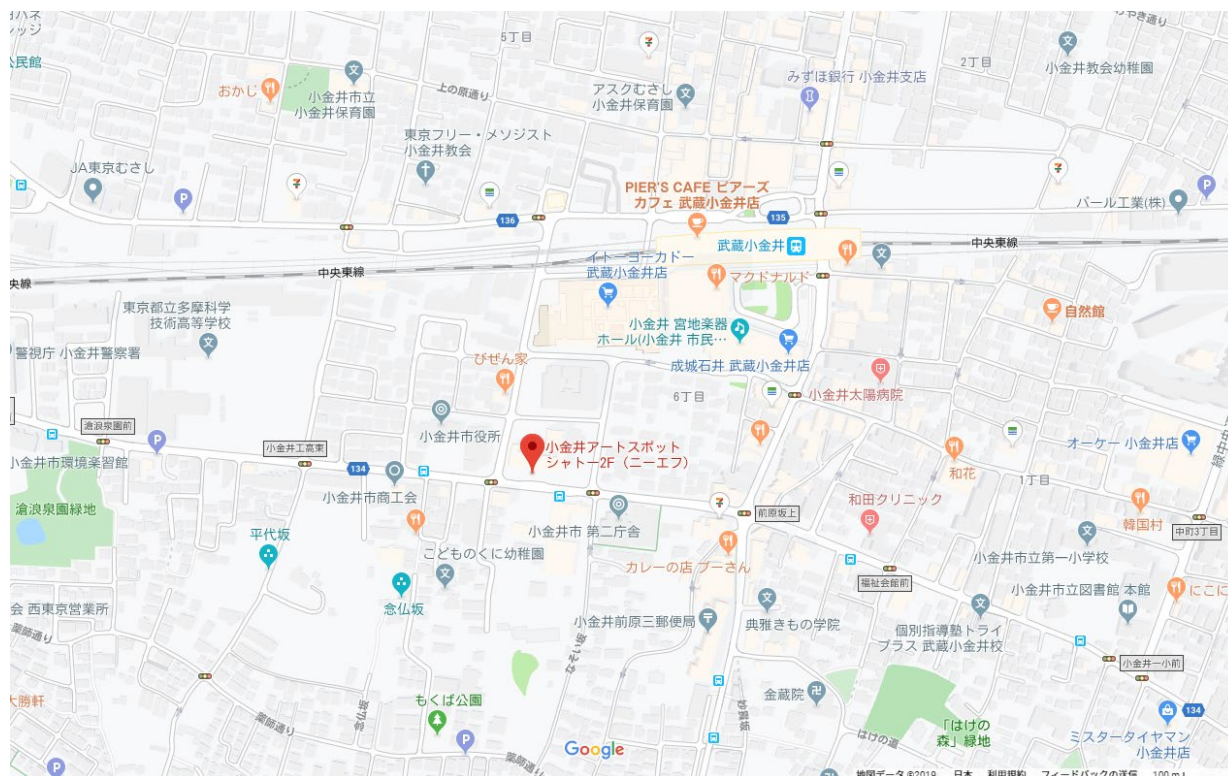
（会場周辺に公共の駐車場はございますが、主催者サイドではご用意しておりません）

※イベント当日の写真撮影やSNS等への投稿の可否につきましては、下記問い合わせ先までお問い合わせください。

※登壇者の過去の活動や作品をご覧になりたい場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

※お預かりした個人情報は、主催者からの連絡にのみ使用し、厳重に管理します。

## 【会場 MAP】



### KOGANEI ART SPOT シャトー2F

(東京都小金井市本町 6-5-3 シャトー小金井 2F)

#### アクセス情報

JR 中央線武蔵小金井駅南口から徒歩 5 分

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

取材・資料請求等のお問い合わせは下記連絡先へお願いします。

TERATOTERA 事務局 担当：高村、森

- ・住 所：東京都武蔵野市吉祥寺東町 1-8-7 Art Center Ongoing 内
- ・電 話：090-4737-4798
- ・メール：info@teratoterajp
- ・H P：http://teratoterajp